

河内長野市学校給食献立システム導入業務委託プロポーザル審査基準

No	審査	事務局 評価	委員 評価	審査要素	項目	審査ポイント	採点方法	配点	
								小計	点数
1	1次審査 (事務局審査)	○		実績	業務実績調書	・過去5年間における地方公共団体における提案システムの業務実績件数	実績1件当たり10点で評価する。 構築と運用保守で10点。構築のみ、 又は運用保守のみは5点。 ※配点を上限とする。	130	100
2		○			業務実施体制	・リーダー(統括責任者)は、本市と同規模の地方公共団体における十分なマネジメント実績が存在するか。	実績1件当たり3点で評価する。 ※配点を上限とする。		15
3		○				・プロジェクトメンバー(技術担当者)は、本市と同規模の地方公共団体における十分な作業実績が存在するか。	実績1件当たり3点で評価する。 ※配点を上限とする。		15
4	1次審査 (事務局審査)	○		見積書	見積費用	・令和5年度見積額(標準パッケージ導入費用)を定量的に審査	下記の計算式で点数を算出する。 最低見積費用※1/見積費用×配点 ※小数点以下四捨五入	240	150
5		○				・令和6年度～令和10年度の見積額(保守費用)の合計を定量的に審査	下記の計算式で点数を算出する。 最低見積費用※1/見積費用×配点 ※小数点以下四捨五入		90
6	2次審査 (委員審査)		○	提案書	提案事項を実施するにあたっての取組方針	・仕様書の内容や、自治体の課題、本市の取り組み方針(利便性、安全安心で確実な給食提供等)を理解した上で、業務改善に寄与するような有益な提案が示されているか。提案が具体的であるか。		250	30
7			○		業務の実施における重要ポイント	・構築全体スケジュールおよび業務別構築スケジュールが具体的に提示されているか。 ・プロジェクトを円滑に進めるための工夫や有効なスケジュールの管理手法が示されているか。 ・工程成果物の確認等、システムの品質を担保するための施策が示されているか。			30
9			○			・本市が求める運用保守要件への対応力が高いか。 ・保守体制は本市にとって有益な内容であるか。 ・提案システムの品質向上のための有効な取り組みが示されているか。 ・ヘルプデスク等の保守サービスについて、利用者に有益な内容が示されているか。 ・システム定着に向けて合理的な運用支援施策や体制が用意されているか。 ・利用者からのフィードバックを踏まえ、マニュアル作成など、利用者のフォローアップの対応ができるか。			40
10			○		提案システム	・仕様書に記載の機能が本業務委託の中で実現可能であるか。 ・提案システムの特徴が簡潔かつわかりやすく記載されており、本市の課題解決に寄与するシステムであるか。 ・業務全般に対して網羅的にシステムの機能が示されているか。			40
11			○		情報セキュリティ	・情報セキュリティに関する取り組みが適切か。			30
12			○		研修	・職員に対する研修体制は、十分に見込まれているか。 ・他の自治体の事例を踏まえ、教育委員会や給食センター、学校現場の特性を理解した最適な研修内容、体制となっているか。 ・ICTの知識の乏しい職員にも理解しやすいものとなっているか。			40
13			○		その他有益な提案	・仕様書の内容以外で、見積の範囲内で有益な提案が記載されているか。			40
14			○		資料作成力・説得力・取組み姿勢	・プレゼンの内容は本市の状況を理解した上での提案内容であるか。 ・質問の回答は、簡潔でわかりやすいものか、また、コミュニケーションはスムーズにとれるか。			40
15		○	プレゼンテーション及ヒアリング	サポート機能・操作性・見やすさ	・プレゼンで確認した機能は、本市の業務に活用できるか。		380	60	
16		○			・ガイド機能、ヘルプ機能等、便利な機能やサポート機能はあるか。			60	
17		○			・データ入力処理について、ミスを防ぐよう工夫されている、素早く入力できるよう工夫されている等、操作性が良いか。			60	
18		○			・画面構成について、チェックしやすいレイアウトである、他処理への画面移行がスムーズである等、見やすい構成か。			60	
19		○			・利用者が日頃使う機能はパソコンが苦手な者でも容易に操作できる構成になっているか。			60	
20		○							60
合計								1000	

※1 全希望業者から提示された見積費用のうち最も低い見積費用を指す。